

雲北陵月報

No. 492

令和8年8月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

インターハイ2026 卓球部男子ダブルス3位!!

卓球部

時 8月12～17日
於 Asueアリーナ大阪

〈男子団体〉1回戦敗退
〈男子シングルス〉
2回戦敗退 波多間怜偉(23北陵)
〈男子ダブルス〉
3位 三好蒼空(32北陵)・金丸陽(32北陵) 組
B16 福田健人(35北陵)・波多間怜偉組

〇大会総評

団体戦、シングルスでは全国の厚い壁に阻まれ、上位進出を果たすことはできなかった。一方、ダブルスでは三好・金丸組が、本校として2年ぶり4回目となる3位入賞を果たした。選手達は最後まで粘り強く戦い、島根県代表としての責任を十分に果たすことができた。今回の大会を通して、全国の舞台で戦うために必要な技術面・戦術面・精神面における課題も明確になった。これらの課題をチーム全体で共有し、来年度のインターハイを目指し、大会までに卒業生や地元中学生に練習相手をしていただき強化してきたが、結果に繋げることができなかった。この敗戦を無駄にしないよう、10月の国スポに向け強化していきたい。



1ハイに向けて、より一層厳しく質の高い練習に取り組み、心・技・体・智のすべての面で更なる向上を図っていききたい。
(顧問 古瀬泰之)

なぎなた部

時 8月9～12日
於 ロートアリーナ奈良

〈演技競技の部〉
曾田小夏(34北陵)・安田結衣(33北陵) チーム
決勝T1回戦敗退
吉田千秋(24北陵)・齋藤桜生(23北陵) チーム
予選リーグ敗退

〈個人試合の部〉

安田結衣 予選リーグ敗退
曾田小夏 予選リーグ敗退
〈団体試合の部〉
1勝1敗 予選リーグ敗退
〇大会総評

今大会は全ての種目で敗退。3月末の全国選抜では準優勝し、今大会でも

男子ソフトテニス部

時 8月4～7日
於 三段池科研電機テニスコート

〈個人戦〉
1回戦 三島綾太(32北陵)・木村一心(21北陵) ペア
0-4 新潟県ペア
高木映瑠(34北陵)・川原 真(34北陵) ペア
3-4 石川県ペア
2回戦 佐藤宏祐(24北陵)・金森剛士(33北陵) ペア
0-4 長崎県ペア

〈団体戦〉

1回戦 2-1 京都文教(京都)
2回戦 0-3 明德義塾(高知)

〈団体メンバー〉

三上瑛大(35北陵)、三島綾太、木村一心、高木映瑠、川原 真、河野穂希(33北陵)、山下柊人(35北陵)、富岡光輝(33北陵)

〇大会総評

個人戦、団体戦とも目標とする結果とはならなかったが、事前の準備も含め、チームとしてとても貴重な経験となった。また、たくさんの方



女子ソフトテニス部

時 7月31～8月3日
於 三段池科研電機テニスコート

〈個人戦〉
1回戦 水永成実(23北陵)・村尾竹音(13北陵) ペア
0-4 宮城県ペア
2回戦 井上心々奈(33北陵)・牛尾真緒(21北陵) ペア
0-4 香川県ペア
落合遥(33北陵)・森田早貴(34北陵) ペア
1-4 佐賀県ペア
今田心(23北陵)・末田美雨(13北陵) ペア
2-4 埼玉県ペア

〈団体戦〉

1回戦 1-2 脇町(徳島)

〈団体メンバー〉

落合遥・森田早貴・今田心・末田美雨・井上心々奈・牛尾真緒・水永成実・村尾竹音

〇大会総評

個人、団体共に初戦を突破することができず悔しい結果となった。大きな舞台で力を発揮し、勝ち進めるよう今後も精進していきたい。たくさんの方の応援・サポート有難うございました。
(顧問 金森 快)



写真部

水口笑奈(33) 奨励賞を受賞!

第50回全国高等学校総合文化祭 写真部門

時 7月26～30日
於 秋田県立美術館
にぎわい交流館A U
アトリオン



出発当日は、出雲空港から東京羽田空港へ向かう航空便が急遽欠航となり、代替便への振替手続きを行った結果、当初予定より2便遅い便への変更となった。更に、羽田空港到着後に利用予定であった東北新幹線も満席であったため、乗車時刻を



変更したうえで、予定を大幅に変更して移動することとなった。その結果、秋田県への到着は夜遅くとなり、初日から予期せぬ対応を余儀なくされる波乱のスタートとなった。



大会期間中は東北地方が梅雨の最中であり、連日にわたる大雨の中で撮影会が実施された。生徒・引率者ともに雨天対策を講じながら活動したものの、全身が濡れるような厳しい環境での撮影となり、天候への対応に多くの労力を要した。

このような状況下ではあったが、生徒は最後まで意欲的に作品制作・交流活動に取り組み、その成果として本校作品が全国第3位に相当する奨励賞を受賞した。最終日にはホールのステージにおいて全国表彰を受けることができ、本校写真部として大変意義深い成果を収めることができた。



閉会式のステージ上で全国表彰

(顧問 上代昭文)

激闘を戦い抜き、

敢闘賞を受賞!

写真甲子園2026本戦大会

時 7月27～8月2日
於 北海道上川郡東川町

第33回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2026」に勝部紫帆(35)、原宗右介(21)、景山双葉(23)の3名が「選手」として出場した。

北海道を舞台にファースト審査会「気づく」・ファイナル審査会「フリー(指定なし)」というテーマで作品制作・セレクト・プレゼンを行い、審査員からの講評を受けた。ファースト審査会は自分達の世界観を崩さず、とても良い形で作品を仕上げることでできた。ファイナル審査会の作品制作では、「声をかけて人を撮る」ことに挑戦し

たが、初戦・ファーストまで保っていた自分達の世界観を捨て去ってしまい、本来の持ち味を生かし切ることができなかった。また、構成力の弱さもあり、制限時間内に納得のいく作品を仕上げるができなかった。上位入賞こそ果たせなかったが、今後の課題が浮き彫りになり、学び多き大会となった。この経験を次の挑戦への糧として、更なる飛躍を目指したい。

陰ながら見守ってくださった全ての方々に心から感謝している。本当に有難うございました。今後とも写真部の応援をよろしくお願い致します。

(顧問 村上 学)



美術部

第50回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門

時 7月27～30日
於 秋田県立近代美術館他

本校から3年の加納珠莉(36)・定守古都乃(36)が参加した。各都道府県代表の美術・工芸作品が400点以上展示され、全国レベルの作品を鑑賞し大

いに刺激を受けた。交流会では秋田の工芸品を制作したり、全国の高校生と互いに作品を鑑賞して交流を深めた。

(顧問 石倉 正)



会場にて

陸上競技部

第80回国民スポーツ大会

陸上競技島根県予選会
時 7月11・12日
於 松江市営陸上競技場

大野 蓮(32)

少年A男子やり投 2位

高野咲人(13)

少年B男子砲丸投 2位

田中純平(11)

少年共通男子棒高跳 5位

○大会総評

前半シーズンの締めの大会として13名が出場した。酷暑の中の競技だったが3名が入賞し、その他自己ベスト更新者も多く出た。総体後も果敢に記録に挑戦した3年生は文字通り集大成となった。1、2年生は秋の島根県新人戦に向けて頑張っ欲しい。応援をいただいたいた保護者、生徒の皆さん本当に有難うございました。

(顧問 中澤 悟)

第80国民スポーツ大会 中国ブロック予選大会

なぎなた部

時 7月19日
於 白梅総合体育館

3勝1敗 2位

○大会総評

2位でブロック通過をすることができた。本国スポへ向け強化し、技術面・精神面でも成長し大会に挑みたい。

(顧問 井上美代)

女子ソフトテニス部

時 8月22・23日

於 岡山県備前テニスセンター

【代表メンバー】落合遙・森田早貴・今田心・牛尾真緒・末田美雨

○大会総評

島根県の代表として、本校からは5名が出場し、中国5県でのリーグ戦を行った。選手達はよく奮闘し、他県の代表を追い詰めたが、1勝3敗の4位という結果となった。応援有難うございました。

(顧問 金森 快)

吹奏楽部

第67回全日本吹奏楽コンクール

島根県大会

於 出雲市民会館大ホール

【高等学校フリーの部】

日時 8月7日

自由曲…無幸の祈り／樽屋雅徳

【高等学校Aの部】

日時 8月8日

課題曲…川あつまれおもちゃのマルチャ!

／伊藤士恩

自由曲…フスティバル・バリエーション

／C.T. スミス

○大会総評

本校の生徒達は普段どおりの落ち着いた雰囲気、北陵らしい豊かな音色と表現力溢れる演奏をし、観客を魅了した。結果、フリーの部、Aの部共に金賞を受賞した。加えて、Aの部では最優秀賞を受賞し、中国大会への出場権を得ることができた。

これも偏に、全面的にバックアップをしていただいている保護者会をはじめ、応援していただいている方々のお蔭と部員一同感謝している。

8月24日(月)に広島市の広島文化学園HBGホールで行われる中国大会に向けて、部員一丸となって練習に励みたい。

(顧問 原田 実)

合唱部

合唱の集い

時 7月26日

於 大社文化プレイスうらら館

この合唱の集いはコンクールの前哨戦ともいえる演奏会であり、生徒達も適度な緊張感の中にも気合が入った面持ちで参加した。本番ステージでは、NHK全国学校音楽コンクールの課題曲、全日本合唱コンクール課題曲、自由曲2曲の計4曲を演奏した。20分にもわたるステージとなったが、集中を切らすことなく、しっかりと歌い上げた。しかし改善点はまだまだ多くあり、コンクールへ向けて更に精進していきたいと強く感じた良い機会であった。

NHK全国学校音楽コンクール

島根県コンクール

時 8月4日

於 大田市民会館



今年大会には17名で参加した。今年度初めてのコンクールであったり、例年になく部員数が少なかつたりと不安な面も多々あったが、部員一人ひとりがしっかりと自分の役割を果たし、課題曲と自由曲の2曲を歌い上げた。結果は金賞をいただき、中国ブロックコンクールへコマを進めることができた。しかし課題も多く見つかり、次のコンクールまでに修正を加え、更に精度の高い表現ができるように努力を重ねていきたい。

第65回島根県合唱コンクール

時 8月11日

於 安来市総合文化ホールアルテピア

中学生部員が新たに加わったり、課題曲、自由曲共に違う曲を演奏したりと、NHKコンクールの時とは違った意味での緊張感を感じながらの本番であった。本番ステージでは普段の練習通りの演奏をすることが



でき、金賞をいただくとともに、中国大会への切符を手にすることができた。まだまだ改善すべき点があるので、基本に戻って、一人ひとりの力をアップするとともに更に音楽の質を高めていきたい。

(顧問 布野浩志)

ダンス同好会

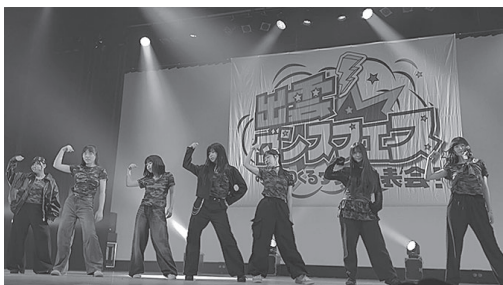
出雲ダンスフェス Vol.7

時 7月12日

於 出雲市民会館

今年は1年生8名が加入し、新チームは計20名となった。1年生は既に頼もしく、堂々としたパフォーマンスを披露した。また上級生は小道具を用いるなど、工夫を凝らしたパフォーマンスが目をつけた。そして当日は多くの団体のダンスを鑑賞し、刺激を受けることができた。秋のイベント出演に向けて更に練習に励みたい。応援に駆けつけていただいた保護者の皆様、有難うございました。

(顧問 水谷円香)



インターアクト地区大会

時 7月25・26日
於 就実大学・就実中学高校



第49回インターアクト地区大会が岡山市であり、本校から生徒5名が参加した。大会テーマは「未来を守る防災力」今日の行動が、明日の命を救う」で、自衛隊岡山地方協力本部の田淵昇氏の講演、ローブワーク・簡易担架・救急法・止血法・新聞紙スリッパ作成の5つの防災実践演習(体験学習)など、グループワークを通じて、防災意識の向上と被災時の対処を学んだ。また、本校は体験発表があたりとあり、施設訪問の取り組みから子どもや高齢者の幅広い年齢層との「ふれあい」を大切にしたと発表した。

特別進学コース 校内予備校実施

7月21日(火)～24日(金)の4日間、本校では県外から予備校講師の先生をお招きし、英語・古典・数学の3教科において特別授業を実施した。授業では、受験に直結する重要ポイントを丁寧に解説していただき、生徒達も熱心にメモを取りながら集中して取り組んでいた。普段の授業とはひと味違ったテンポや視点での授業に、生徒達は刺激を受けている様子だった。今回の特別授業を通じて、生徒達は受験に向けて意識を更に高めることができた。



第63回全国高等学校家庭科食物調理技術検定

時 8月4日
於 本校
〈準1級合格者〉 後藤ヤスミン(32班) 加藤紅葉(33大)

中学校

卓球部

第60回島根県中学校総合体育大会
時 7月19・20日
於 鹿島総合体育館

〈男子団体〉優勝
〈男子シングルス〉

3位 今福龍司(中1門沢)

ベスト8 垣原政仁(中1日光)

ベスト8 清水寛生(中2藍)

ベスト16 住田光亮(中3西郷)

菅原梨功(中2中郷)

〇大会総評

団体戦は苦しい局面もあったが、選手達が日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、最後まで粘り強く戦い抜いた。個人戦は惜しくも優勝に届かなかったが、5名が中国総体の出場権を獲得することができた。中国総体までの期間でレベルアップを図り、全中出場を目指して頑張りたい。

団体戦2位、個人戦3名が

全国大会への出場権獲得!

第51回中国中学校卓球選手権大会
時 8月5・7日
於 カミアリーナ

〈男子団体〉2位

〈男子シングルス〉

3位 今福龍司、垣原政仁

ベスト8 清水寛生

なぎなた部

JOCジュニアオリンピックカップ
第34回全国中学生なぎなた大会
時 7月25・26日
於 ブシロードアリーナ・エスオー

〈個人の部〉
手銭美乃(中3大社) 5位入賞



〇大会総評
全国中学生大会に5年ぶりに個人のみ出場。手銭が5位入賞することができた。

毎日高校生と稽古を重ね、土日には卒業生の成年選手や地元中学生と稽古をすることができ、充実した練習環境で準備をすることができた。皆さんに感謝し、その気持ちを表現できた大会であったと思う。応援いただき有難うございました。(顧問 井上美代)

男子バスケットボール部

第60回島根県中学校総合体育大会
時 7月18・20日
於 島根県立体育館

1回戦 本校 78-54 湖南
2回戦 本校 47-55 島大附属
結果 ベスト8

〇大会総評

島大附属戦でも最後まで粘って戦ったが、あと1ゴールというところで

シュートを決めきれず、相手にリバウンドを取られることが続き、競り負けてしまった。ご声援有難うございました。(顧問 多々納厚比古)



女子バスケットボール部

第60回島根県中学校総合体育大会
時 7月18・20日
於 島根県立体育館

1回戦 本校 68-44 安来一中
準々決勝 本校 38-71 湖南中
結果 ベスト8

〇大会総評

掲げてきた目標には届かず敗戦となった。それでも県総体に向けてチーム全員で準備をしてきた過程は無駄ではなく、最後まで戦おうとする選手達の姿からは精神的な成長を感じることができた。今後には繋がる経験と糧にして更なるレベルアップに期待したい。ご声援有難うございました。(顧問 和田拓真)



2026年 秋のオープンキャンパス 日程 9/13日

オープニングイベント（映像配信）（8:40～8:45 5分）

本校の生徒会執行部によるオープニングイベントを映像配信します。※申し込み不要。授業体験を受ける部屋で視聴していただきます。

中学校

行 事 名	実施時間	対 象	定 員	事前申込
入試問題に挑戦！（英語・数学） 1科20分テスト	11:10～12:10	6年	20名程度	必要
ピザをつくろう	13:00～14:20	5・6年	20名程度	必要
個別相談（1組20分以内）	9:00～14:00	4～6年と保護者の方		不要
入学説明会（北陵中ってどんな学校？）	① 8:50～ ② 11:10～ ③ 13:00～	4～6年と保護者の方		不要

高等学校授業体験（8:45～9:25 40分）

教 科 名	テ ー マ	内 容
国 語	漢字の成り立ちと漢文入門	漢文の基礎を分かりやすく指導します。
数 学	数学Bにチャレンジ	数学B（数列分野）の基礎的内容を勉強します。
英 語	高校英文法に挑戦	3つの完了形（現在・過去・未来）に取り組み基本事項を確認します。
理科（生物）	高校生物を体験しよう	遺伝子のモデル実験を通して、高校生物の内容に触れます。
社会（地理・歴史）	社会科って面白い！	故郷の地理・歴史を通して社会科の楽しさを再確認します。

受験講座（9:40～10:30 50分）

教 科 名	テ ー マ	内 容
国 語	過去問にチャレンジ！	本校の過去の入試問題を使って、傾向と対策を詳しく解説します。
数 学		
英 語		
理 科		
社 会		

中学校（部活動体験・見学）

部 活 動 名	実施時間	場 所	対 象	事前申込
中学男子バスケットボール部	8:50～10:40	体育館	5・6年生	当日予約
中学女子バスケットボール部		体育館		
中高テニス部	10:50～12:30 （見学のみ）	テニスコート		
中高なぎなた部		黎明館1階		
中高ダンス同好会		2番→ホール		

その他の行事

行 事 名	実施時間	場 所	備 考
美術受験講座	10:50～13:00	美術棟	持参物：鉛筆（3B、HB、2H程度）消しゴム、カッターナイフ
入学相談	9:00～15:00	図書室	事前申込は必要ありません。保護者の方もOKです。

部活動見学（10:50～12:30）※部活動についての下記実施時間は予定です。実施時間の変更、あるいは当日試合等がある場合もあります。

部 活 動 名	実施時間	場 所	備 考
男子バスケットボール部	10:50～12:30	体育館	
女子バスケットボール部		体育館	
なぎなた部		黎明館1階	
中高ダンス同好会		中高棟2番教室	
サッカー部		第1グラウンド	見学のみのみ
陸上部		第2グラウンド	見学のみのみ
吹奏楽部		黎明ホール	
合唱部		音楽室	
写真部		216R	

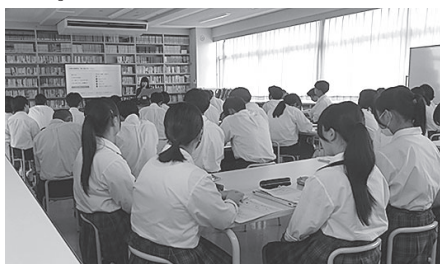
※筆記用具、上履き、下足用袋、飲み物、弁当（必要な人）を持参してください。

※当日はランチルームの大サービス！（営業時間10:30～13:30）（カレーライス ¥100、ラーメン ¥100、うどん ¥100など）

就職接遇マナー講習

時 7月17日

高校3年生就職希望者を対象にした就職接遇マナー講習を行った。講師にはハローワーク出雲の就職支援ナビゲーターの高橋義子様をお迎えし、ビジネスマナーについてお話をいただいた。特に今回は面接についての指導をしていただき、姿勢や表情、声の出し方などについて詳しく説明を受けた。今後9月16日から始まる採用試験に向けて、しっかりとした準備をして試験に臨んで欲しい。



夏のオープンキャンパス開催

時 8月12日

当日は児童生徒合わせて599名の参加があり大いに賑わった。高校では授業体験や受験講座などを、中学校では入試問題に挑戦や土器を作ろうなどのイベントを実施した。参加者は真剣に講座を受講したり、部活動体験では在学生と一緒に汗を流したりした。今後もたくさんのお学生に、本校の魅力を伝えていただけるような場を提供していきたい。

作品と研究

令和8年度
春季写真コンクール
特選作品集

「眼光」

伊藤璃梨華
(1-3 河南)



「弧光」

原 宗右介(2-1 平田)

「戻れるなら」

森脇
結雅
(2-1 出-)



「途切れぬ帰路」

原 宗右介(2-1 平田)



「黄昏線」

原 宗右介(2-1 平田)



「ダイブ!!」

持田 一真(2-3 平田)



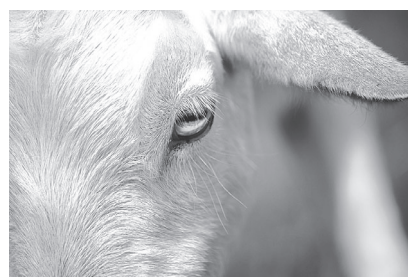
「遠雷」

景山 双葉(2-3 大ニ)



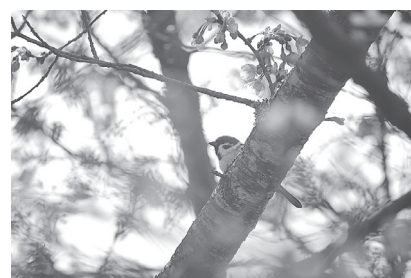
「いつまでも」

森脇
結雅
(2-1 出-)



「静観」

勝部 紫帆(3-5 平田)



「春を覗く」

勝部 紫帆(3-5 平田)

今月の
1枚

「無数のあなたへ」

原 宗右介(2-1 平田)

2026年度第1回TopEyeフォトコンテスト入選作品

